



2023年5月15日

各 位

会 社 名 株式会社ヤマノホールディングス
代表者名 代表取締役社長 山野 義友
(コード番号7571 東証スタンダード)
問合せ先 取締役専務執行役員
管理本部長 岡田 充弘
電話番号 03-3376-7878

2023年3月期業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2022年5月13日に公表しました2023年3月期の連結業績予想と実績値との間に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

また当社は個別業績予想を開示しておりませんが、当社の個別決算における当事業年度の実績値が前事業年度の実績値から一定以上変動しましたのであわせてお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想との差異について

(1) 2023年3月期連結業績予想と実績値との差異(2022年4月1日~2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 14,000	百万円 240	百万円 210	百万円 140	円 銭 4.02
実 績(B)	13,904	297	286	173	4.98
増減額(B-A)	△95	57	76	33	—
増減率(%)	△0.7	24.1	36.6	24.1	—
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	13,175	281	265	101	2.91

(2) 差異の理由

当連結会計年度の業績につきましては、本日公表の「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載のとおり、新型コロナウイルス感染症の影響を一時的に受けたものの、通期ではその影響も徐々に軽減され、回復基調となりました。

売上高は、既存事業での不採算店舗の閉鎖による減収影響はあったものの、既存店舗では回復・増加傾向であり、合同大型展示販売会においては集客が増加、また、2022年5月に子会社化した東京ガイダンス株式会社及び2022年6月に子会社化した株式会社OLD FLIPの貢献もあり、概ね順調な推移となりました。

利益面では、既存事業でのコスト管理の強化に努め販管費の削減に取り組んだことや不採算店舗の閉鎖による収益改善を図ったことに加え、教育事業で株式会社マンツーマンアカデミー及び東京ガイダンス株式会社2社の業績が順調に推移したこと等により、営業利益、経常利益、当期純利益とも予想を上回ることとなりました。

2. 個別業績の前期実績値との差異について

(1) 2023年3月期通期個別業績の前期実績値との差異(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期(2022年3月期) 実績(A)	百万円 8,409	百万円 217	百万円 250	百万円 109	円 銭 3.15
当期(2023年3月期) 実績(B)	7,845	312	292	207	5.95
増減額(B-A)	△563	94	41	97	—
増減率 (%)	△6.7	43.2	16.6	89.1	—

(2) 差異の理由

通期の個別業績につきましては、売上高は、2022年10月1日付で美容事業の統合・強化を目的に実施したグループ内組織再編により、連結子会社である株式会社ヤマノプラスに当社美容事業を譲渡したため、前期実績より減少することとなりましたが、和装宝飾事業では、回復・増加傾向で順調に推移いたしました。

利益面では、和装宝飾事業での売上が順調であったことによる売上総利益の増加に加え、コスト管理の強化による販管費削減の取り組みもあり、営業利益は前期実績を94百万円、経常利益は41百万円上回ることとなりました。また当期純利益は、繰延税金資産を計上することにより法人税等調整額(益)△63百万円を計上したこと等があり、前期実績を97百万円上回ることとなりました。

以 上